

# 事業概要

3・3・3号下白銀町福田線は、弘前市街地中心部を東西に貫き、国道7号及び地域高規格道路である国道102号へ連絡する4車線の主要幹線道路であり、JR奥羽本線と立体交差し、東西両地域の連絡や郊外部からの市街地内へのスムーズな交通流の導入等、都市内幹線道路網の骨格をなす多くの機能を有している重要な路線です。

沿線の西側地区は既成市街地が、東側は土地区画整理事業により大型店舗、卸売市場等の商業施設が形成され、更には周辺の宅地化が進んだことにより交通量が増加しました。

その中でも当該区間は、西側の立体交差事業整備済区間と、東側の土地区画整理事業整備済区間の中間に位置し、各交差点に右折車線がないため慢性的な渋滞箇所となっているほか、東小学校の通学路に指定されているにもかかわらず歩道が1m程度と非常に狭く、通学路の緊急合同点検において、危険箇所として指摘されていました。

このような市街地の拡大に伴う現道部の慢性的な交通渋滞の解消、歩行者の安全確保を図るため、また都市内交通の円滑化と広域交通ネットワークの形成による東西市街地の連絡強化のため、県では平成19年度より街路事業に着手し、平成29年6月21日に全面供用する事となりました。

## 弘前広域都市計画道路事業

### 3・3・3号下白銀町福田線



完成写真(高崎二丁目より)

# 道路概要

- 事業名：3・3・3号下白銀町福田線(高崎)道路改築事業
- 事業区間：弘前市大字松ヶ枝5丁目～境関1丁目
- 事業期間：平成19年度～29年度
- 延長：1,200m
- 幅員：20～25m
- 総事業費：約33億円

案内図



平成30年4月

「この印刷物は200部作成し、企画から印刷までの作成経費は1部あたり2592円です。」

青森県中南地域県民局地域整備部

